

ESG リースの活用拡大とお客さまの脱炭素経営を支援する GX Assessment Lease の取組

【代表的な取組№1：先進性】

三菱HCキャピタル株式会社

1. 取組の概要

GX Assessment Lease は、脱炭素社会の実現に向けて、企業の設備導入を支援する当社独自のリース・割賦プログラムです。ESG リース促進事業（以下「ESG リース」）の対象設備導入を後押しするとともに、設備導入による CO₂排出量削減効果の見える化や証明書の発行、ウェブサイト掲載などの情報発信支援を提供しています。ESG リースによる経済的なメリットに加え、こうした支援を組み合わせることで、中小企業をはじめとするお客さまの脱炭素への取組をサポートしています。

2. 取組の目的（昨年度からの進化）

昨年度は、CO₂削減効果の見える化や証明書発行を中心に、ESG リース対象設備の導入効果を分かりやすく伝える取組を進めてきました。今年度はその取組をさらに発展させ、サステナブルファイナンスとの連携や、地域金融機関との協業を組み合わせるなど強化を図っています。ESG リースの活用を支援するとともに、「CO₂削減効果の見える化から情報発信までを一体的に支援する仕組み」へと進化させています。

3. 取組のポイント

1. ESG リースの活用価値向上	ESG リース対象設備に GX Assessment Lease を組み合わせることで、補助金による導入メリットに加え CO ₂ 削減効果の見える化や情報発信を支援しています。これにより、ESG リースを設備導入だけでなく、企業価値向上にもつながる取組として活用いただいています。
2. 脱炭素経営への伴走支援	環境データの収集や CO ₂ 排出量の見える化、削減ロードマップ策定を支援しています。さらに、ロードマップに基づく設備投資を ESG リースなどの活用を通じて、お客さまの継続的な脱炭素経営を支援しています。
3. 地域への展開	地域金融機関との連携を通じて地域企業への ESG リース提案を強化しています。設備導入から CO ₂ 削減効果の見える化、情報発信までを一体的に支援し、地域企業の脱炭素投資の促進に取り組んでいます。
4. サステナブルファイナンスとの連動	2025 年 7 月に GX Assessment Lease などを資金使途とするグリーンボンドを発行しました。またトランジション・ファイナンス・フレームワークでは、本サービスの累計実行額を KPI の一つに設定し、金融市場から脱炭素設備投資への資金循環を促進しています。

（取組の成果）

本取組は ESG リース対象設備を対象としており、ESG リース活用の拡大にも貢献しています。2024 年 7 月の開始以降、GX Assessment Lease の適用実績は 45 件、設備金額は累計 17 億円となり、ESG リース制度の付加価値向上と利用促進につながっています。

4. 今後の展望

今後も当社は、ESG リースの経済的メリットと GX Assessment Lease による CO₂削減効果の見える化・情報発信支援を組み合わせることで、ESG リースのさらなる活用拡大に取り組めます。また、サステナブルファイナンスや地域金融機関との連携を一層強化し、お客さまの脱炭素投資と脱炭素経営の推進を継続的に支援していきます。